

## 【記入例】

氏名	高崎 博司	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	運動器理学療法				
学位	博士(理学療法)				
学歴	2004年札幌医科大学理学療法学科、6年札幌医科大学大学院修士課程保健医療学研究科徒手療法学専攻、13年クイーンズランド大学大学院博士課程				
経歴	2013年クイーンズランド大学博士研究員、14年埼玉県立大学理学療法学科講師				
所属学会(役職)	日本理学療法士協会、日本整形外科スポーツ医学会、日本徒手理学療法学会(理事)、埼玉アスレチックリハビリテーション研究会(理事)、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(理事)、専門リハビリテーション研究会、International Association for the Study of the Pain、Spine Society of Europe				

## 【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	姿勢回正！83個一線物理療法，導正你的身體！	共著	楓葉社文化；P.223	高崎博司、藤縄理	2019.1
2	脊柱理学療法マネジメント-病態に基づき機能障害の原因を探るための臨床思考を紐解く	共著	メディカルビュー社；P.352	高崎博司、成田崇矢、他	2019.2
(2) 論文					
1	Development of the Working Alliance Inventory-Short Form Japanese version through factor analysis and test-retest reliability.	共著	Physiotherapy theory and practice; P.1-6	Takasaki H, Miki T, Hall T	2018.6
2	Concerns related to the accurate identification of anterior derangement syndrome in mechanical diagnosis and therapy for low back pain: A case report.	共著	Physiotherapy theory and practice; P.1-9	Takasaki H, May S	2018.6
3	Introduction of clinical prediction rules for neck pain.	単著	The Journal of Manual Physical Therapy; P. 29-32	Takasaki H	2018.6
4	No increase in 6-week treatment effect of Mechanical Diagnosis and Therapy with the use of the LUMObac in people with non-acute non-specific low back pain and a directional preference of extension: a pilot randomized controlled trial.	共著	Physiotherapy; P.347-353	Takasaki H, Aoki S, May S	2018.9
5	Are improvements in symptoms associated with changes in lumbopelvic posture in patients with posterior derangement using Mechanical Diagnosis and Therapy?	共著	Journal of back and musculoskeletal rehabilitation; P.doi: 10.3233/BMR-181263.	Takasaki H, May S	2018.11
6	A Japanese version of the Patient Attitudes and Beliefs Scale for patients with musculoskeletal disorders.	共著	Physiotherapy theory and practice; P.1-9	Takasaki H, Hall T	2019.1
7	The most common classification in the Mechanical Diagnosis and Therapy for patients with a primary complaint of non-acute knee pain was Spinal Derangement: a retrospective chart review.	共著	Journal of Manual and Manipulative Therapy; P.33-42	Hashimoto S, Hirokado M, Takasaki H	2019.2
8	Altered trunk head co-ordination in those with persistent neck pain.	共著	Musculoskeletal science & practice; P.45-50	Treleaven J, Takasaki H, Grip H	2019.2

9	Reporting on the level of validity and reliability of questionnaires measuring Katakori severity: A systematic review.	共著	SAGE open medicine; in press	Aoki K, Hall T, Takasaki H	2019.3
(3)学会発表					
1	No increase in 6-week treatment effect of Mechanical Diagnosis and Therapy with the use of the LUMObac in people with non-acute non-specific low back pain and a directional preference of extension: a randomized controlled trial	共著	EUROSPINE 2018, Barcelona, Spain	OTakasaki H, Aoki S, May S	2018.9
(4)その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究B)		習慣的座位姿勢の改善がマッケンジー法による腰痛改善程度に与える影響の解明(研究代表者)		2015.4~2019.3
2	埼玉県立大学 症例研究B		自動下肢伸展拳上時の股関節体幹コントロール能力の評価・機能改善に向けた萌芽研究(研究代表者)		2018.4~2019.1
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1)講義					
1	臨床推論演習	2018.4	クリニカルリーズニングを指導した		
2	運動器障害治療学特論(大学院)	2018.4~8	運動器理学療法の評価と治療を指導した		
3	徒手理学療法	2018.10~11	力学的な理学療法評価治療を指導した		
(2)演習					
1	IPW演習	2018.6~2018.10	学生が自主的に参加できるようサポートした		
2	理学療法セミナー(OSCE1)	2018.8	理学療法評価の実践能力を評価した		
3	理学療法セミナー(OSCE2)	2018.4	理学療法評価の実践能力を評価した		
4	理学療法特別演習	2018.10~2019.3	運動学について国家試験の対策を行った		

(3)実習			
1	物理療法学実習	2018.4～8	徒手的牽引や軟部組織モビライゼーションの指導をした
2	IPW実習	2018.10	学生が自主的に参加できるようサポートした
3	機能診断学実習	2018.10～2019.3	徒手的スペシャルテストの腰部下肢編の実技指導を行った
4	臨床教育実習I	2018.2～3	学生評価を行った
5	臨床教育実習II	2018.10～11	実習地訪問と学生評価を行った
6	臨床教育実習III	2018.4～6	実習地訪問と学生評価を行った
7	臨床教育実習IV	2018.6～8	実習地訪問と学生評価を行った
(4)論文指導			
1	学部卒業研究(17期生)	2017.4～2019.3	主指導:3名
2	学部卒業研究(18期生)	2018.4～	主指導:2名
(5)その他			
1	該当なし		
4. 社会貢献活動			
(1)講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
	開催年月		
1	第23回日本徒手理学療法学会学術大会	日本徒手理学療法学会	シンポジウム「徒手理学療法最前線」
2	スポーツ理学療法における技術研修会【第1回 Basic コース】	埼玉県理学療法士会	スポーツ現場におけるテーピング技術(上肢編)と徒手療法(上肢編)
3	国際スポーツ競技対策委員会 第5回研修会	埼玉県理学療法士会	スポーツ理学療法におけるシナリオ症例に対する評価と理学療法
4	平成29年度臨床実習指導者講習会	埼玉県立大学	Mechanical Diagnosis and Therapyの紹介
5	スポーツ理学療法における技術研修会【第2回 Basic コース】	埼玉県理学療法士会	スポーツ現場におけるテーピング技術(下肢編)と徒手療法(下肢編)
6	国際スポーツ競技対策委員会 第7回研修会	埼玉県理学療法士会	英語によるスポーツ現場でのコミュニケーション
7	第2回国際スポーツ競技対策委員会 技能認定試験	埼玉県理学療法士会	第2回国際スポーツ競技対策委員会 技能認定試験試験官
8	標準徒手医学会アドバンスコース	標準徒手医学会	脊柱徒手療法における最新の知見
9	Japan Study Tour	日本理学療法学生協会	Future direction in musculoskeletal physiotherapy
(2)国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事	2014.4～2019.3
2	埼玉県理学療法士会	国際スポーツ競技対策委員	2016.10～現在
3	The McKenzie Institute International	MII Research Advisory Committee	2017.1～現在
4	日本徒手理学療法学会	理事	2017.4～現在
5	埼玉アスレチックリハビリテーション研究会	理事	2017.4～現在
6	日本理学療法士協会	頸部痛理学療法診療ガイドライン作成委員	2017.6～現在
7	日本理学療法士協会	ガイドライン・用語策定委員会 アドバイザー	2018.3～現在
8	日本徒手理学療法学会	徒手理学療法雑誌編集委員	2018.4～現在
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	倫理委員会 委員		
2	学生支援委員会 委員		
3	入試実施部会 部会委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			

受賞名	主催	受賞年月
1 該当なし		
7. 特許の保有状況		
特許名	特許番号	登録年月
1 該当なし		
8. 特記事項		
該当なし		